

令和2年度宇部市国民健康保険運営協議会 委員からの質問・意見への回答

番号	質問・意見の内容	対応・回答
1	<p>歳入について、国民健康保険料が予算より多く収められたことはよかったですと思います。引き続きお願いいたします。</p> <p>諸収入が予算に対して3,000万円と半減しているが、雑入の大きな減の要因は何ですか。</p>	<p>国民健康保険料の収納率向上対策を実施し、収納率の向上に努めます。</p> <p>雑入の減については、保険給付費等交付金償還分（前年度精算分）が当初予算額を下回ったことによるものです。</p>
2	<p>歳出について、新型コロナウイルスの影響で保健事業等の中止により減になったものと推察します。</p> <p>令和3年度は更に厳しい状況と思うが、市民の健康のためにも引き続き保健事業の推進をお願いいたします。</p>	<p>健幸長寿のまちづくりの実現に向け、コロナ禍においても感染予防と二次健康被害予防を目指し、市民の健康の保持増進に努めるため、効率的・効果的な保健事業を実施したいと考えています。</p>
3	<p>令和2年は、新型コロナウイルスの影響があらゆる分野で出てくると思います。</p> <p>特定健診はもとより、栄養教室、健康教室、スポーツレクリエーションのあり方についても考えていく必要があります。対面の指導、会議が困難になりますので、会議や教室に対して、Z o o m等の導入を考えていますか。</p>	<p>コロナ禍でも日常生活に運動を取り入れるきっかけとして、令和2年7月から「手軽にできる健康づくり」の動画をインターネットに掲載しています。動画の内容は、令和3年3月まで毎月新たな情報を追加していきます。</p> <p>令和3年度からは、健康教室等で、作成した動画の活用を検討しています。</p> <p>また、必要に応じて指導等でのZ o o m等の導入を検討します。</p>
4	<p>宇部市の特定健診受診率は、令和元年度は県内2位でした。</p> <p>A Iを導入した受診勧奨、自己負担金無料化、みなし健診などの受診率向上の取組に加え、さらなる取組を考えていますか。</p>	<p>本市の特定健診受診率が向上した主な理由は、次の取組を実施したことによるものと考えています。</p> <p>①健診未受診者への受診勧奨通知の送付【平成25年度～】 ※平成30年度からA Iを活用し対象者をグループ分けし、その属性に応じた内容の受診勧奨通知の送付</p> <p>②全対象者の自己負担金無料化【令和元年度～】 令和2年度は、特定健診実施医療機関を訪問し、特定健診の受診勧奨や診療情報の提供（みなし健診）への協力を依頼する予定としています。</p> <p>また、令和3年度からは、対象者の利便性を高めるため、特定健診とがん検診の受診券を一体化する予定です。</p> <p>今後もより受診しやすい環境づくりに努めたいと考えています。</p>

令和2年度宇部市国民健康保険運営協議会 委員からの質問・意見への回答

番号	質問・意見の内容	対応・回答
5	<p>特定健診受診率が伸び続けて、県内2位ということは関係者のみなさんがいろいろと頑張って取り組まれた成果だと思います。後期高齢者医療保険者1人当たりの医療費は年間100万円を超えているとのことで、一人ひとりが生活改善する意識を持たないといけないと考えました。</p> <p>手軽にできる健康づくりの動画を作成されるとのこと、期待しています。</p>	<p>高齢者一人一人が、運動、栄養、口腔ケアなどの生活習慣を振り返り改善していくため、高齢者の通いの場に健康づくりや介護予防に関する情報提供を随時行っていきます。</p> <p>また、運動実践情報「手軽にできる健康づくり」は、市ホームページの「健康・福祉」－「健康保険」－「国民健康保険」に掲載していますので、ご覧ください。また、令和3年3月まで月に1回新たな情報を掲載した後、リーフレットを作成する予定です。</p>
6	<p>国民健康保険特定健診受診率について 宇部市の受診率の向上が著しい。その理由をわかりやすく公表しアピールする。 その際、費用についての評価も入れる。</p>	<p>本市の特定健診受診率が向上した主な理由は、次の取組を実施したことによるものと考えています。</p> <p>①健診未受診者への受診勧奨通知の送付【平成25年度～】 ※平成30年度からAIを活用し対象者をグループ分けし、その属性に応じた内容の受診勧奨通知の送付</p> <p>②全対象者の自己負担金無料化を案内資料に目立つよう掲載【令和元年度～】</p> <p>今後は、市民への意識啓発のために、特定健診受診率や受診勧奨の取組内容等について、広報活動を充実させていきたいと考えています。</p>
7	<p>国民健康保険と後期高齢者医療の医療費について 医療水準の高い宇部市では高金額は納得できるが、市の方針としてこのままでいいのか。 重複受診・重複投薬（ドクターショッピング）などのチェック、指導システムはどうなっているか。 宇部市は、病院経営赤字がないのでこれでよいのか。</p>	<p>本市は医療機関が多く医療体制が整備されていることから、医療費が高い傾向にありますが、必要な医療については、重症化予防のためにも受診すべきと考えています。</p> <p>その一方で、重複受診などの不必要な医療については、医療費抑制のためにも指導が必要と考えており、現在、重複受診者・重複投薬者に対して訪問指導・電話指導を実施しています。指導方法については、KDBシステム（医療情報等のデータ集約システム）から指導候補者を選定し、市医師会の医師と訪問指導の可否や指導方法等について対象者選定協議会で協議し、対象者を決定します。その後、案内を送付し、訪問指導等を実施しています。</p>

令和2年度宇部市国民健康保険運営協議会 委員からの質問・意見への回答

番号	質問・意見の内容	対応・回答
8	<p>山口県の高齢化率が高い状況にあることに危惧しています。調剤が多種類処方されている高齢の方は、同じ薬を二度飲んだり、飲まなかったりで混乱するという話を聞きます。私は分包（バラバラの錠剤を同時に飲む場合一緒にまとめる）していただいているが、薬局で分包を実施していただけると、薬が余る状況も減少できると思います。</p>	<p>本市では、重複・頻回受診の対象者に訪問指導等を実施しております。指導の際に、服薬方法を確認し、身近で相談できる薬局や薬剤師を持つことや、お薬手帳の活用なども周知していきたいと考えています。</p>
9	<p>口腔ケアとコロナウイルス ウイルスは、口・鼻・目の粘膜から感染します。口の中の歯周病菌が出すたんぱく質分解酵素（プロテアーゼ）は粘膜を破壊しウイルスが細胞内へ入りやすくします。口腔衛生を徹底することによって新型コロナウイルスの感染リスクを低下させることができます。これまでも口の中がきれいな人はインフルエンザウイルスの感染率が低下することはわかっていました。</p>	<p>本市では、宇部市老人クラブ連合会への委託事業として、健康講座を実施しています。健康講座では、口腔ケアを含めた講座を実施するように依頼しています。今後も、口腔ケアの必要性を周知していく必要があると考えています。</p>
10	<p>資料2の感想ですが、後期高齢者の入院の1位の骨折はもちろん2位の心疾患の高齢心不全であれば、心不全ガイドブックに明記してあるように、再入院を予防するためにも「適切な運動療法と栄養介入」とあり、心不全は低栄養、サルコペニアの悪循環の原因となり、徐々にフレイルが進行するとされています。入院中や外来での栄養指導でも高齢者の低栄養が多くなったと感じています。このことを考えると、今後は糖尿病透析予防・生活習慣予防だけでなく、60歳以上のサルコペニア・フレイル・オーラルフレイル予防の栄養・運動・口腔ケアの健康教室を行っていくことが重要と思います。</p>	<p>本市では、宇部市老人クラブ連合会への委託事業として、健康教室及び健康講座を実施しています。健康教室では、運動の必要性を周知し、健康講座では、口腔ケアを含めた講座を実施するように依頼しています。今後は、地域・保健福祉支援チームや地域包括支援センター、社会福祉協議会と連携し、市内約210ヶ所ある高齢者の通いの場にフレイル予防など健康づくりや介護予防に関する情報提供を随時行っていきます。健幸長寿のまちづくりの実現に向け、市民の健康の保持増進に努めるため、効率的・効果的な保健事業を実施したいと考えています。</p>